

令和4年度 埼玉県「性に関する指導」 課題解決支援事業 実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」
「さいたまっち」

令和5年3月

埼玉県教育委員会

は じ め に

近年、社会状況の変化により、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関する問題や新型コロナウイルス感染症など、児童生徒等の心身に影響を与える様々な健康課題が生じています。このような健康課題の解決を図るためにも、学校における健康教育は重要な役割を担っています。

新型コロナウイルス感染症については、その対応の長期化とともに、インフルエンザとの同時流行など、いまだ気を緩めることのできない状況が続いており、各学校においては、持続的に児童生徒の学びを保障するため、感染防止に配慮しながらの教育活動の実施に注力いただいていることと拝察いたします。

学校における性に関する指導は、児童生徒の発達の段階に応じ、学習指導要領に基づいて、関連教科を中心に学校の教育活動全体を通じて行われています。とりわけ、体育科、保健体育科における保健の授業は、学習指導要領に位置付けられた学習であり、学校における健康教育の中核として効果的に推進されなければなりません。

本報告書は、埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業における令和4年度の取組の概要や成果等についてまとめております。すべての学校において、掲載の指導実践例等を活用していただき、児童生徒の発達の段階を踏まえ、学校全体の共通理解の下、保護者の理解を得ることに配慮しながら、性に関する指導の充実が図られることを期待します。

結びに、本事業の円滑な推進に御尽力いただきました、「性に関する指導」課題解決検討委員の皆様をはじめ、実践発表、授業研究会等に御協力いただきました、各小中高等学校並びに関係教育委員会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後もお一層の御指導・御協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年3月

埼玉県教育局県立学校部保健体育課長

松中 直司

目 次

I 埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について

1	事業の趣旨	1
2	事業内容	1
3	実施内容	1
4	事業の成果と課題	3
5	令和5年度の事業について	5

II 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

..... 6

III 埼玉県「性に関する指導」授業研究会

1	小学校部会	小鹿野町立小鹿野小学校	31
2	中学校部会	所沢市立所沢中学校	45
3	高等学校部会	県立和光国際高等学校	57

IV 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会

1	設置要綱	79
2	委員名簿	81

I 埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について

1 事業の趣旨

発達段階に応じた効果的な性に関する指導を推進するために、学識経験者を含めた課題解決検討委員会を立ち上げ、効果的な指導法の研究・普及・実践を行うこと。

- ・課題解決検討委員を講師として、「知識を活用した保健学習—性に関する指導編・感染症編—」「新・なるほど保健学習」を活用した指導者研修会及び授業研究会を実施する。
- ・発達段階に応じた性に関する指導について研究する。
- ・性に関する指導に携わる教員等を指導する指導者養成を兼ねる。

2 事業内容

- (1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会
- (2) 「性に関する指導」指導者研修会
- (3) 「性に関する指導」授業研究会

3 実施内容

(1) 課題解決検討委員会について

- ア 第1回課題解決検討委員会 令和4年7月6日(水) 知事公館大会議室
- ・日程確認、役割(校種別)分担について
 - ・「知識を活用した保健学習—性に関する指導編・感染症編—」「新・なるほど保健学習」を活用した授業研究会について
 - ・「性に関する指導」指導者研修会について
- イ 第2回課題解決検討委員会 令和4年8月23日(火) さいたま共済会館505
- ・授業研究会について(発達段階に応じた性に関する指導の実践研究)
- ウ 第3回課題解決検討委員会 各校種での授業研究会
- ・授業研究会について(発達段階に応じた性に関する授業の実践研究)
- エ 第4回課題解決検討委員会 令和5年1月27日(金) 知事公館大会議室
- ・研究のまとめ

(2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 趣旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

イ 開催日時 令和4年9月12日(金) 午後1時20分から午後4時30分まで

ウ 開催方法 Zoomによるオンライン開催

エ 参加対象者

- ・公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員(体育・保健体育担当教職員、養護教諭等)
- ・市町村教育委員会の指導主事

オ 内容

・行政説明

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

指導主事 咲間 悟

・事例発表

小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」

(イ) 思春期の体の変化

桶川市立加納小学校

主幹教諭 高橋 陽太

中学校指導事例 第3学年「健康な生活と疾病の予防」

(オ) 感染症の予防

春日部市立東中学校

教 諭 江夏 彩香

(元 行田市立忍中学校)

高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」

(ア) 生涯の各段階における健康

県立総合教育センター

指導主事 塚本 卓司

(元 県立与野高等学校)

・講演

「新学習指導要領に基づく性に関する指導の進め方」

講師 聖心女子大学現代教養学部教育学科

教授 植田 誠治 氏

(3) 「性に関する指導」授業研究会

効果的な指導方法の実践研究を行う。

○ 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導を行うための指導方法の実践研究

・ 「性に関する指導」における小・中・高の系統的な保健教育の実践研究を行う。

【構造化された授業の提案】

・ 学習内容の明確化（1時間1時間に何を学ばせるのか、何を学んだのかが明確な授業）

・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

・ 健康に関する課題を解決する学習活動を積極的に行うなどの指導方法の工夫

① 小学校部会授業研究会

令和4年11月9日（水）小鹿野町立小鹿野小学校

第4学年「体の発育・発達」（イ）思春期の体の変化

阿部 真子 養護教諭

② 中学校部会授業研究会

令和4年10月28日（金）所沢市立所沢中学校

第1学年「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

三好明日美 養護教諭

③ 高等学校部会授業研究会

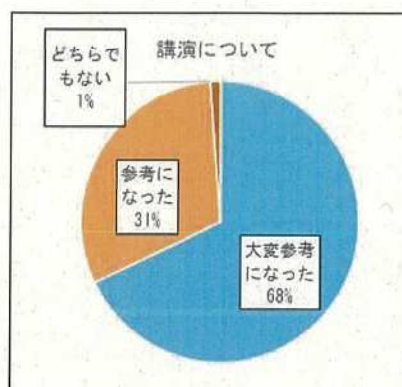
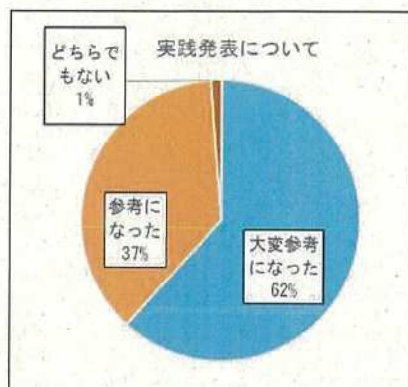
令和4年11月8日（火）県立和光国際高等学校

第2学年「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

斉藤美智子 養護教諭

4 事業の成果と課題

(1) 「性に関する指導」指導者研修会について ＜参加者アンケートより＞



【実践発表について】 ※抜粋

- ・先生方が授業を行うまでのプロセス等もお話してくださったので、とても参考になりました。校種の違う学校の授業も知ることができ、中学・高校と繋げていけるような授業をしていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・主体的で深い学びにつなげるための学習を行うためにはどのような学習形態を取れば良いかを学ぶことができた。学習指導要領を基に、どのような学習内容を組むかという点で学校の実態に沿って教えているところが、非常に良かった。(中学校・教諭)
- ・生徒たちの主体的学びを促す活動が参考になりました。具体的にどのような活動が生徒の「学びたい」を生み出す活動なのか自分だけでは思いつかないので、実践例を勉強できることはとてもありがたいです。実践した上での良かったこと、反省点なども合わせて教えてもらえたのでこれから実践に繋げていきたいです。(中学校・養護教諭)
- ・実際に小学校・中学校でどのような指導をしているか、分からなかったのが具体的に知ることができてよかった。系統的という言葉もあったように、小中学校で勉強したことを踏まえて高校でもそれに繋がる指導ができればいいと思った。内容も非常に参考になるもので、ケーススタディやテキストマイニングなど使ってみようと思った。(高等学校・教諭)
- ・特別支援学校にて、性に関する単元を指導しているが、他の先生方がどのように授業をしているのかを知る機会が教員になってから全くなかった。なので今日の事例発表から多面的な指導方法を知ることができ大変良かった。(特別支援学校・教諭)

【講演会について】 ※抜粋

- ・植田先生の「学校は、健康教育を計画的かつ系統的に実施することができる最適な機関・組織である」という言葉が印象的でした。なかなか進んでいない性教育の実践も学校の強みを生かして、児童生徒の発達段階に応じた授業づくりをしていきたいと思いました。小中高の保健体育の教科書を用いた説明で理解しやすかったです。(小学校・養護教諭)
- ・小学校から高等学校までの系統性のお話が大変参考になった。特に高等学校での学習内容はあまり知る機会がないので、勉強になった。個人差が大きい中学校での一斉指導は難しいと感じた。その中で、集団指導と個別指導の関係性をわかりやくお話いただきとても参考になった。また、スウェーデンの中学校の授業の校長先生のお話など、興味深く聞くことができた。(中学校・養護教諭)
- ・特別支援学校は教科書がありませんが、小、中、高の教科書を見ながらどのような授業を展開しているのかを学ぶことができました。本校の児童生徒にも実態に応じて、性に関する指導を行っていく為に参考にさせていただきます。(特別支援学校・教諭)

<成果>

- 学習指導要領の指導内容をおさえた授業実践について周知することができた。
- 小・中・高等学校の系統的な指導内容の理解が深まった。
- 新学習指導要領改訂の背景や抑えるべきポイントの理解が深まった。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解が深まった。

<課題>

各学校で、「性に関する指導」を適切に推進していくために、学習指導要領を正しく理解することや、発達の段階を踏まえた指導内容、学校全体での共通理解、保護者の理解、集団指導と個別指導の連携を密にした効果的な指導をする必要がある。引き続き研修の充実を図りたい。

(2) 「性に関する指導」授業研究会について

① 小学校部会

- ・保護者の意見、アンケートを取り入れ、身近な大人の悩んだことなどが聞けて、子供たちもとても興味を持っていたところがとても良かったです。(小学校・教諭)
- ・「性に関する指導」というと、どうしても恥ずかしいという気持ちが先に出てしまい、なかなか発表できないのでは？と思いましたが、女子も男子も学び合いポイントを押さえ、元気よく発表できているのがとても素敵だと思いました。養護教諭の専門的なアドバイスも効果的で良かったです。(小学校・養護教諭)
- ・養護教諭との連携の方法や、家庭への協力体制を整える方法等、具体的に知ることができた。(小学校・教諭)
- ・自分自身ドキドキワクワクする授業展開でとても聞き入ってしまいました。子供たちへの発問が適切で全員が1時間楽しそうに集中して授業を受けていた。(小学校・養護教諭)

② 中学校部会

- ・性に関する話題は時として緊張感がなくなってしまうこともありますが、生徒たちが自ら興味をもって、自ら調べ、真剣に発表し合う姿がとても良かったです。(中学校・養護教諭)
- ・スクールタクトを使用して子供たちから出てきた言葉を教師が拾い上げながらまとめを行うということが勉強になった。(中学校・養護教諭)
- ・生徒自身が知りたいことを自分で調べていくうちに、興味関心が広がり、あれもこれも知りたいなど、一人一人が深い学びに繋がっていると思った。教科書に載っていないところまで調べていて、たくさんの生徒の気付きがあった授業であった。(中学校・教諭)

③ 高等学校部会

- ・養護教諭との連携を上手にとることで生徒の効果的な指導が行えることを知れた。また、グループワークを有効に活用することで、価値観がそれぞれ違うことに気付くきっかけにすることができると知った。(高等学校・教諭)
- ・ワークシートの記入状況から生徒たちの理解度が予想よりもはるかに高かった。「小・中で学んだことがつながった」「責任感を感じて大人に近づいている気がする」等のコメントを読んで、小さいころから系統的に学ぶ事の大切さを再認識しました。(特別支援学校・教諭)
- ・ポジティブに扱うことがとても参考になった。正しい知識を与えて、よいライフプランを設計させることが重要だと思った。(高等学校・教諭)
- ・言葉の選び方、生徒の多様性を理解した上でのパワーポイントの表記がとても参考になった。(高等学校・教諭)

5 令和5年度の事業について

(1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会の実施（継続）

ア 日時

- 第1回 課題解決検討委員会 令和5年 6月28日（水）（予定）
 第2回 課題解決検討委員会 令和5年 8月29日（火）（予定）
 第3回 課題解決検討委員会（部会別授業研究会）
 令和5年10～11月 （予定）
 第4回 課題解決検討委員会 令和6年 1月26日（金）（予定）

イ 内容

- ・課題解決検討委員会事業計画の作成
- ・「性に関する指導」指導者研修会の計画
- ・「性に関する指導」授業研究会の計画、指導案の検討
- ・成果報告
- ・事業のまとめ 等

(2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 日時 令和5年8月9日（水） オンライン開催

イ 内容

- ・行政説明
- ・事例発表

小学校指導事例	第4学年「体の発育・発達」 （イ）思春期の体の変化		
	小鹿野町立小鹿野小学校	阿部 真子	養護教諭
中学校指導事例	第1学年「心身の機能の発達と心の健康」 （イ）生殖に関わる機能の成熟		
	所沢市立所沢中学校	三好明日美	養護教諭
高等学校指導事例	第2学年「生涯を通じる健康」 （ア）生涯の各段階における健康		
	県立和光国際高等学校	斉藤美智子	養護教諭

Ⅱ 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

令和4年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会開催要項

1 趣 旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

2 開催日時 令和4年9月2日（金） 午後1時20分から午後4時30分まで
（接続：午後1時～）

3 会 場 Zoomによるオンライン開催（ライブ配信）

4 主 催 埼玉県教育委員会

5 参加対象者

(1) 公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（体育・保健体育担当教職員・養護教諭等）

(2) 市町村教育委員会の指導主事

※参加人数の上限を500名とし、上限に達した場合は、申し込みを締め切ります。

6 日 程

13:00	13:20	13:25	13:45	14:45	14:55	16:25	16:30
受 付	開 会 行 事	行政説明 20分	指導事例発表 60分	休憩	講 演 90分	諸 連 絡	閉 会 行 事

7 内 容

(1) 行政説明

・教育局県立学校部保健体育課 指導主事 咲間 悟

(2) 埼玉県「性に関する指導」実践推進委員会指導事例発表

・小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」 (ア) 体の発育・発達
桶川市立加納小学校 高橋 陽太 主幹教諭

・中学校指導事例 第3学年「健康な生活と疾病の予防」
(オ) 感染症の予防
春日部市立東中学校 江夏 彩香 教諭

(元 行田市立忍中学校)
・高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康
県立総合教育センター 塚本 卓司 指導主事
(元 県立与野高等学校)

(3) 講 演

「新学習指導要領に基づく性に関する指導の進め方」

講師 聖心女子大学現代教養学部教育学科

教授 植田 誠治 氏

8 準備する物

指導資料「新・なるほど保健学習」(平成27年3月 埼玉県教育委員会・埼玉県学校保健会)

*ダウンロード：埼玉県HP → トップページ「健康・福祉」 → 健康教育

—指導事例発表資料—

【小学校指導事例】

第4学年 体育（保健領域）

「体の発育・発達」（ア）体の発育・発達

発表者：桶川市立加納小学校 主幹教諭 高橋 陽太

【中学校指導事例】

第3学年 保健体育（保健分野）

「健康な生活と疾病の予防」（オ）感染症の予防

発表者：春日部市立東中学校 教諭 江夏 彩香
（元 行田市立忍中学校）

【高等学校指導事例】

第1学年 保健体育（科目保健）

「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

発表者：県立総合教育センター 指導主事 塚本 卓司
（元 県立与野高等学校）

令和4年度

埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

～実践発表（小学校）～

単元名「体の発育・発達」
（ア）体の発育・発達 （イ）思春期の体の変化

桶川市立加納小学校 主幹教諭 高橋陽太

指導のつながり

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題

小学校：思春期の体の外に表れる変化
体の中における変化と個人差

中学校：生殖にかかわる機能の成熟
成熟に伴う変化に対応した適切な行動

高等学校：思春期における心身の発達
性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化

第1時
○体は年齢に伴って変化すること
○体の発育・発達には個人差があること

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題

小学校：思春期の体の外に表れる変化
体の中における変化と個人差

学習内容

学習形態

第1時
○体は年齢に伴って変化すること
○体の発育・発達には個人差があること

担任とのTT

第2時
○次第に大人の体に近づき、体つきが変わること

担任とのTT

第3時
○初経、精通などが起こること
○異性への関心が芽生えること

養護教諭とのTT

【導入】

活動①

〈わたしはだれでしょうクイズ〉
児童の幼少の頃の写真や新生児の人形との比較から、課題をより身近なものに自分事として捉えられるようにする。そしていくつか挙げられる発育に伴う体の変化から、本時で取り上げる「身長の変化」に焦点を当てていく。

〈本時の課題〉

私たちの体は、どのように発育しているのだろうか。



【導入】

活動①

＜わたしはだれでしょうクイズ＞
児童の幼少の頃の写真や新生児の人形との比較から、課題をより身近なものに自分事として捉えられるようにする。
そしていくつか挙げられる発育に伴う体の変化から、本時で取り上げる「身長伸び」に焦点を当てていく。

研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題



＜本時の課題＞

私たちの体は、どのように発育しているのだろうか。

【展開前半】

活動②

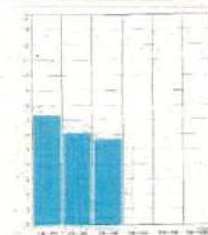
対話的活動から知識を習得する場面

＜発育グラフの作成＞

紙テープ（入学時から4年生までの身長伸びの合計の長さ）を切り分け、身長伸びのグラフを作り、それぞれの発育の変化について話し合う。

指導すべき内容

- 身長や体重は、年齢に伴って変化すること。
- 体の変化には個人差があること。



評価【知識】（観察・学習カード）

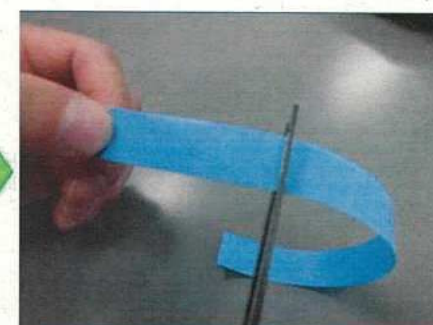
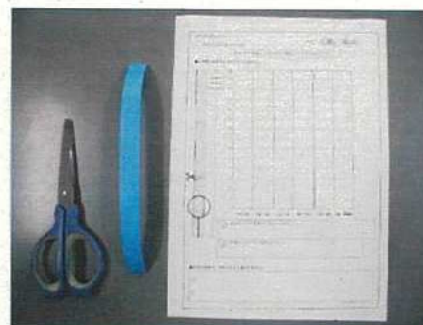
体は、年齢に伴って変化すること、体の変化には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。



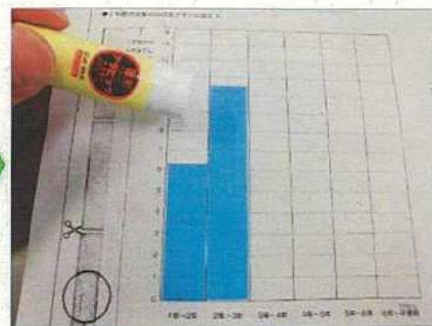
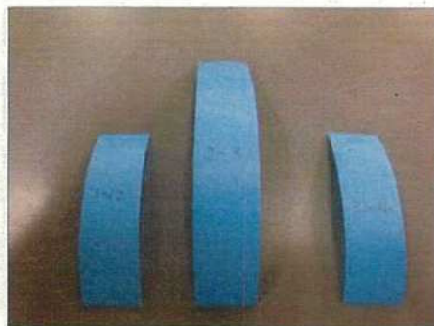
研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題



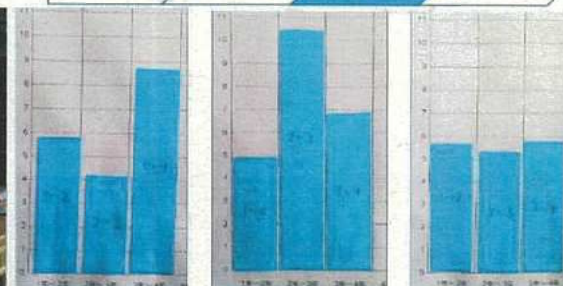
研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題



研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題



研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題



《児童の気づき》
 ○3年～4年の間がよく伸びている。
 ○2年～3年でぐんと伸びた。
 ○毎年同じだけ大きくなっている。

対話的活動から知識を習得する場面

研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題



《児童の気づき》

○友達と伸び方が似ていた。
 ○4人とも伸び方が違っていた。
 ○みんなちゃんと大きくなっていた。



評価【知識】《観察・学習カード》

体は、年齢に伴って変化すること、体の変化には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

【展開後半→まとめ】

研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題

活動3

習得した知識を活用する場面

〈ケーススタディ〉

体の発育・発達に関する悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。

【ケース1】

友へ。僕は、自分の成長について、困っているんだよ。



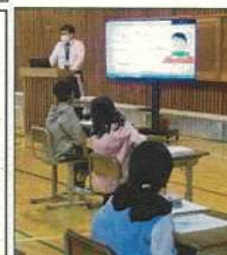
【ケース2】

友へ。わたしの成長が心配なことがあったので、相談しようかな。



【ケース3】

友達の話が聞いて、自分も、成長が心配なことがあったので、相談しようかな。



習得した知識を活用する場面

研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題

友達の身長が急にのびて、
ぼく、ぬかされちゃった。しんぱいだなあ。



友達の身長がのびてぬかされても、たいようふたよ。身長がのびる長さは、人それぞれなんだから。しんぱいすることないよ。

より

習得した知識を活用する場面

研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題

◆今日の学習のふりかえりをしよう。

○「身長」は、年々いともちのびる。

○成長のしかたには、「人差」がある。

◆これからわかる体の変化について、今の自分の気持ちを書いてみよう。

「人差」と言う言葉を初めて、もしあまりのびなくなったら不安にならなくていいんだと思えて、わたしも少し安心しました。

〈まとめ〉

本時で学んだこと、これからの体の変化をどのように迎えるか、考えをワークシートに書き表す。

◆これからわかる体の変化について、今の自分の気持ちを書いてみよう。

これから身長がのびてきたらどうしようかと思いましたが、身長には人差があることを知りました。

◆これからわかる体の変化について、今の自分の気持ちを書いてみよう。

わたしは、もし、このような人はいい人だと思いたうように声をかけてあげたいです。

評価【思考・判断・表現】（観察・学習カード）

体の発育・発達について、学習したことを自分の成長や生活と比べたり、関係を見付けたりするなどしたことを書いて、説明したりしている。

研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題

単元全体の学習後の児童の感想

- 体の変化には、個人差があることがわかった。
- 友達と比べることで、身長の伸びかたが違うことがわかった。
- 体に毛が生えてきても、これからはびっくりしない。
- 男子には精通、女子には初経が起こることがわかった。
- 保健室の先生に教えてもらえたことが心に残った。
- 不安だったことが、学習をして安心に変わった。
- 女の子のことも男の子のこともいっぱいわかるようになったから、こまっている子のことを助けてあげたい。

研究の概要 児童の実態 実践 成果と課題

【成果】

- ・ 1時間で何を学ばせるのか（教師）、1時間で何を学んだのか（児童）、学習内容を明確にした指導を行うことができた。
- ・ 対話的な活動を意図的に取り入れることにより、児童が思考し、知識の習得と活用に結び付けることができた。
- ・ 養護教諭との連携により、体の発育・発達について養護教諭の専門性を十分に活用した展開となったことに加え、今後、思春期の児童に生じる悩みを相談できる安心感につなげることができた。
- ・ 学習を終えて、自己や他者を大切にする気持ちをもつ児童が増えたこと。

【課題】

- ・ 児童が主体的に学び、習得した知識を活用することができる学習活動のさらなる工夫。
- ・ 「性に関する指導」への研究が今後も深まり、持続していくための校内指導計画の充実と、校種間連携の在り方。

ご清聴ありがとうございました。

桶川市立加納小学校 高橋 陽太



令和4年度埼玉県「性に関する指導」指導者研修会



第3学年「健康な生活と疾病の予防」(オ)感染症の予防
春日部市立東中学校 江夏 彩香
(行田市立忍中学校)

行田市立忍中学校の概要



・埼玉県の北部に位置する市
・日本屈指の足袋産地として知られ
「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」が日本遺産に認定されている。



○開校76周年

○令和3年度：各学年3クラス、特別支援学級2クラス 全校生徒342名

○学校教育目標：自ら学び ともに鍛え 未来を拓く

○校訓：自治・協同・勤勉

学校の隣には、映画「のぼうの城」の舞台となった忍城や、周辺には埼玉県名発祥の地「さきたま古墳」など貴重な史跡が残っている。豊かな自然に囲まれた地域に位置する学校。

指導すべき内容

(オ) 感染症は、病原体が主要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

【エイズ及び性感染症の予防】

- ① エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が社会問題となっていることから、**疾病概念**や**感染経路**について理解できるようにする。
- ② 感染のリスクを軽減する**効果的な予防方法を身に付ける**必要があることを理解できるようにする。

保健授業の悩み（性感染症・エイズ）

① 一方的な知識の押し付け

・健康について、自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて考え・発信してほしいと願うが、性に関する内容では、講義型の授業になってしまうことがある。

② 性情報の知識の差

・生徒によって知識の差がある為に「性的接触」が何を示しているのかわからず、何を示しているのか理解できないまま授業が進んでしまう。

③ 自分事として捉えることが難しい

・保健の授業では、生涯にわたって必要になる知識を教えているが、中学生が自分ごととして捉えるには難しく、他人事で終えてしまう。

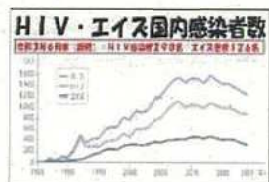
導入

展開

まとめ

○エイズに関する情報から課題を掴む

- ①HIV・エイズ感染者数の国内グラフの提示
- ②エイズに対する一般的なイメージ
- ③レッドリボン



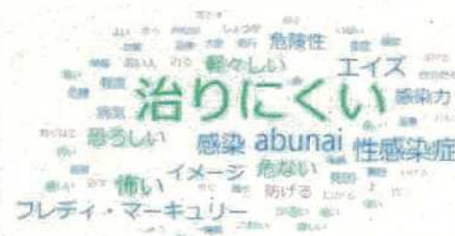
導入

展開

まとめ

○生徒の事前アンケート

「エイズに関して知っていること」の回答をテキストマイニング化したものを提示



- ・一般的なイメージに近い
- ・知っている情報に偏りがある
- ・理解すべき点をわかっていない



導入

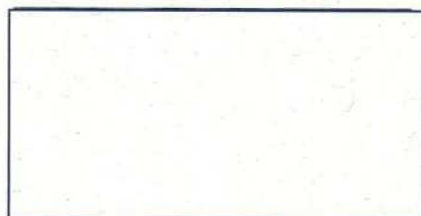
展開

まとめ

○「ウズベキスタン：『私をハグしてください』」

～HIV陽性の女の子が伝えたいこと～／日本ユニセフ協会

(YouTubeより)



【なぜ？】 どうしてHIV感染者に対して差別や偏見が生まれてしまうのだろうか。

導入

展開

まとめ

○課題：エイズとはどんな病気だろうか。予防するためにはどうすればよいのだろうか。

学習の手立て

- ・グループ学習 知識構成型ジグソー法（男女混合の6名程度）

グループ学習で使用したもの

- ・エイズまるわかりシート
- ・感染者情報カード
- ・タブレット

導入

展開

まとめ

読み取り

- ・班の中で、A～Dの項目にわかれる。
- ・それぞれ、A～Dで集まり感染者情報カードから読み取る。

共有

- ・調べた内容を、班に戻り説明する。
- ・それぞれが調べた内容をワークシートにまとめる。

確認

- ・調べた内容をクラス全体で確認する。

導入

展開

まとめ

- A : エイズってどんな病気？病原体は何だろう？
 B : エイズの感染経路って何だろう？
 C : エイズを予防するためにできることは？
 D : エイズの潜伏期間ってどのくらい？

★班の中でA～Dの項目にわかれる

導入

展開

まとめ

感染者情報カード

A	B	C	D	E
性別：男性（年齢：20代） 感染経路：性的接触 感染時期：不明 発症時期：発症していない 発見時期：20歳 病名：HIV感染等	性別：女性（年齢：30代） 感染経路：性的接触 感染時期：不明 発症時期：発症していない 発見時期：20歳 病名：HIV感染等	性別：男性（年齢：40代） 感染経路：性的接触 感染時期：不明 発症時期：発症していない 発見時期：20歳 病名：HIV感染等	性別：女性（年齢：50代） 感染経路：性的接触 感染時期：不明 発症時期：発症していない 発見時期：20歳 病名：HIV感染等	性別：男性（年齢：60代） 感染経路：性的接触 感染時期：不明 発症時期：発症していない 発見時期：20歳 病名：HIV感染等

A

性別（年齢）：男性（20代）
 感染経路：性的接触
 感染時期：不明
 発症時期：発症していない
 発見時期：20歳
 病名：HIV感染等

E

性別（年齢）：男性（40代）
 感染経路：性的接触
 感染時期：不明
 発症時期：40歳
 発見時期：40歳
 病名：エイズ患者

★感染者情報カードから必要な情報を読み取る。

導入

展開

まとめ

感染者情報カードを並べて見比べる。



《生徒からでた意見》

- ・病名に、HIVとエイズがある！エイズではない人も
いるってこと？発症していない人もいる？
- ・性的接触で感染している。

班に戻り、情報交換！

《生徒からでた意見》

- ・潜伏期間が長い人もいたよね。
- ・病原体は調べないとわからなかったね。



導入

展開

まとめ

○調べてわかったことを **発表→確認→共有**



班で完成させた
シートと照らし合
わせながら書き込
みしていきます。

導入

展開

まとめ

○指導すべき内容

- ・エイズとは、HIVという病原体による感染症であること。
- ・予防方法として、感染の危険がある性的接触を避けること、コンドームを使用すること。他人の血液に触れないことが有効であること。



導入

展開

まとめ

○授業後、「エイズとは何か」をテキストマイニング化し
授業前と比べ、得た知識の状況の変化を確認する。



導入

展開

まとめ

○押さえないポイントを教科書を活用して復習
「こんなことでは感染しない」を確認する。



性的接触が主な原因だ
ということを知ったので、生徒からは
「こんなことでは、う
つらないよね」という
声が聞こえてきました。

生徒の感想



エイズは、他の病態よりも怖い。日頃生活の中で感染するとは聞いていたが、こんなに怖い。

正しい知識を多く知ることが大切だと感じました。予防のためには自分が危険を備えることも重要だと感じました。

エイズに ついて 差別がなくなるといいですね。もっと 人に ついて 理解して みたいですね。

エイズは、感染するとは聞いていたが、こんなに怖い。エイズは、感染するとは聞いていたが、こんなに怖い。

エイズは、他の病態よりも怖い。日頃生活の中で感染するとは聞いていたが、こんなに怖い。

授業参観者からの感想

○良かった点

- ・テキストマイニング化することによって、授業の前後での変容がわかりやすい。
- ・正しい知識が身に付いていた。
- ・自分達で調べることで、実践につながる学びになっていた。

○改善すべき点

- ・アズィマさんが、身近な存在ではないので実感にくいのではないか。保健体育の分野で必要か。差別防止などに偏らないように配慮が必要。
- ・“調べる”と“伝える”の違いを明確にする。
- ・知らなくてよい情報に対しては、教師がフォローする。

成果・課題・感想

成果	課題
・エイズに関する知識が身に付いた。 ・情報を読み取らせることで、多くの可能性を考えながら、思考を深めることができた。 ・グループ活動により、自ら考え発信できない生徒も、助け合いながら活動できた。	・感染者情報カードの内容をより細かく、見比べる内容について工夫する必要がある。 ・タブレットでの調べ学習では、教えるべき内容以外の取り扱いに注意する必要がある。

○感想

- ・性に関する内容で生徒が主体的に活動できる授業作りに悩んだ。実際に調べ学習やグループ学習を取り入れることで、生徒が主体的に取り組むことができた。生徒によって元々、知っている知識の差がある為、どう説明すべきかが今後の課題である。また、他機関や保護者の方と協力し、より専門的な活動ができると良いと思った。

ご清聴ありがとうございました



令和4年度 埼玉県「性に関する指導」 指導者研修会 高等学校指導実践発表



県立総合教育センター
指導主事兼所員 塚本 卓司
(授業時：埼玉県立与野高等学校)

69 埼玉県立総合教育センター
Saitama Prefectural Education Center

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

1 授業を実施するにあたって

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

発表の流れ

- 1 授業を実施するにあたって
 - ・授業内容の検討(指導案作成)
 - ・指導要領との関連
 - ・事前アンケートの実施
- 2 当日の授業の様子
- 3 まとめ



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業前の準備

授業内容の検討

- その1 授業対象 → 高校2年生 この事業に合った内容
- その2 学習内容 (2) 生涯を通じる健康
ア 生涯の各段階における健康
- その3 本校の実態を知る → 養護教諭に生徒の性に関する悩みなどの実情を聞く
- その4 聞いた内容から
教科の指導内容と照合し、授業展開を考える

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業前の準備

その結果

本校における性の悩みに関する相談は無かった

そこで…

根本の考えでもある、男女の違い、異性への尊重など性意識について、おそらく学校生活において最後となる…、高2の時期に学習として取り入れてみよう…

☞ ということで

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

指導要領との関連

・今後のことも踏まえ、新学習指導要領に照らし合わせて学習指導案を作成することに。



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業前の準備

授業内容の決定

性意識と性行動の選択 を行うことにする

最終的なゴール設定（授業者の想い）

性意識

・男女それぞれの考えを知る
（身体的な違い、考えの違いなど）



（性）行動の選択

・新たに知った知識を元に
今後行動していけるように
する

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

新学習指導要領での内容

単元名 （3）生涯を通じる健康

（ア）生涯の各段階における健康

① 思春期と健康

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

単元名 「(3) 生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康 ⑦ 思春期と健康

知識

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。

なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業前の準備

直前の授業

事前アンケートの実施

事前アンケート	
【質問】	【回答】
1 回答者	男 ・ 女
2 男女の違いはある	ある ・ ない
3 異性と関わることは	得意 ・ 苦手 ・ どちらでもない
4 どちらかという性とは	仲良くしたい ・ 仲良くしたくない ・ どちらでもない
5 異性からまれて嬉しかったことが (言葉や行動)	ある ・ ない
6 異性からまれて嫌だったことが	ある ・ ない

質問は以上です。

単元名 「(3) 生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康 ⑦ 思春期と健康

思考力、判断力、表現力等

生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。

〈例示〉

- ・生涯を通じる健康に関わる事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を持ちに整理したり、個人及び社会生活と関連したりして、自他や社会の課題を発見すること。
- ・思春期と健康について習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理すること。
- ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明すること。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

2 当日の授業の様子

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

このような流れの授業でした

実施日 令和3年11月16日(火) 第5校時
対象 与野高校2年生 男子17名 女子22名 計39名

①この時間のねらい

②事前アンケート結果発表

③男女の違いについて(グループワーク)

④性に関わる社会的な問題について

- ・異性から受けた嬉しかったこと、嫌なこと(グループワーク)
- ・セクシャルハラスメントの定義を知る

⑤まとめ

- ・他のグループの作成物を見る
- ・今後の異性との関わりはどうする?(個人作業)

主体的、対話的
深い学びに向け

グループワークで
他者の意見を聞く



個人で考えをまとめ、次に活かす

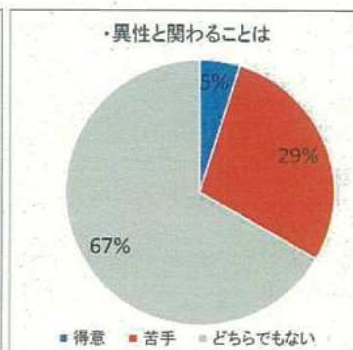
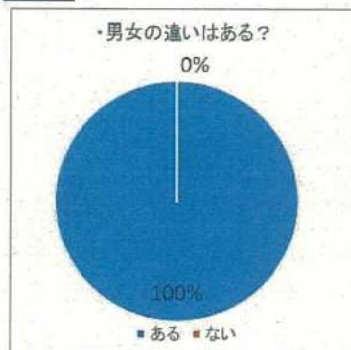
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

事前アンケート結果

女子



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

本時のねらい

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて理解したことを言ったり書いたりできるようにする。

性意識の変化と性行動の選択

異性とよりよく接するためには
どのようなことに気をつければ
良いだろう?

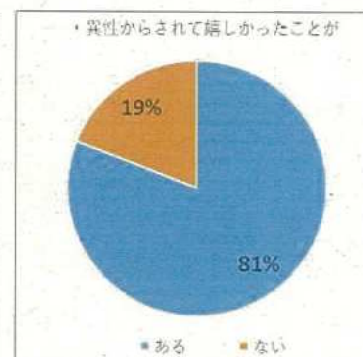
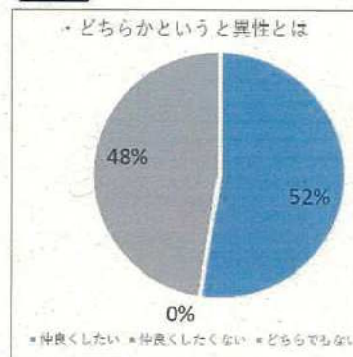
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

アンケート結果

女子



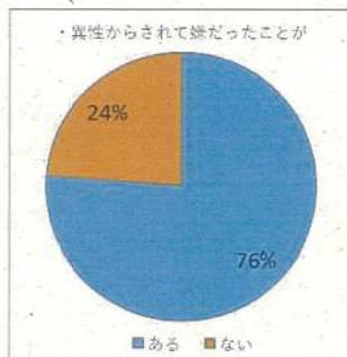
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

アンケート結果

女子



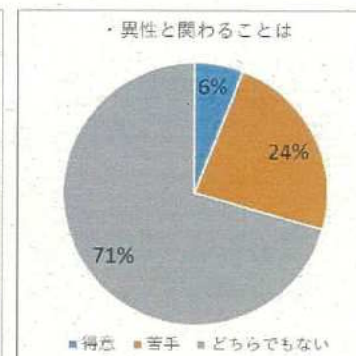
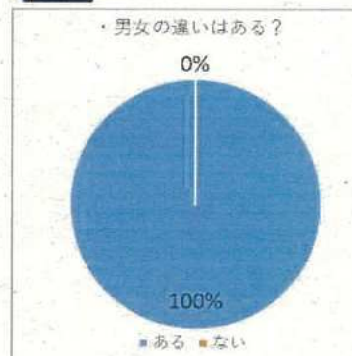
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

アンケート結果

男子



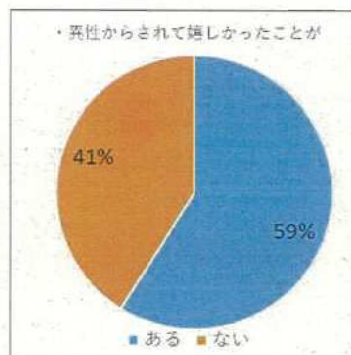
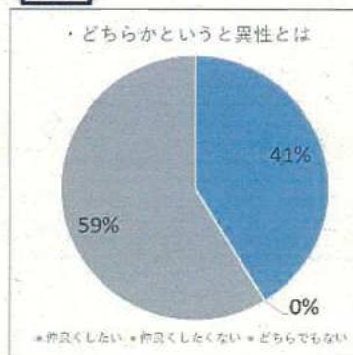
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

アンケート結果

男子



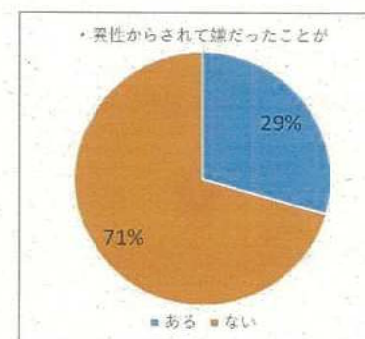
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

アンケート結果

男子

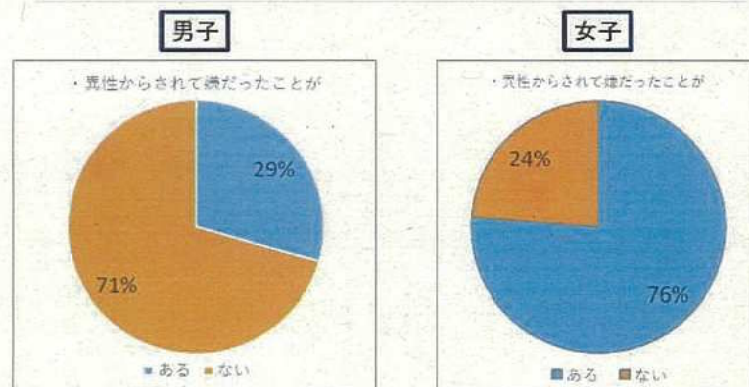


令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

アンケート結果



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

展開

授業の進め方

主体的・対話的な授業の展開



グループワーク主体の授業

・ブレインストーミング

グループ分け

今回は男女別のグループで実施

・最大6人、男女とも3グループずつ

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

展開

グループワーク①

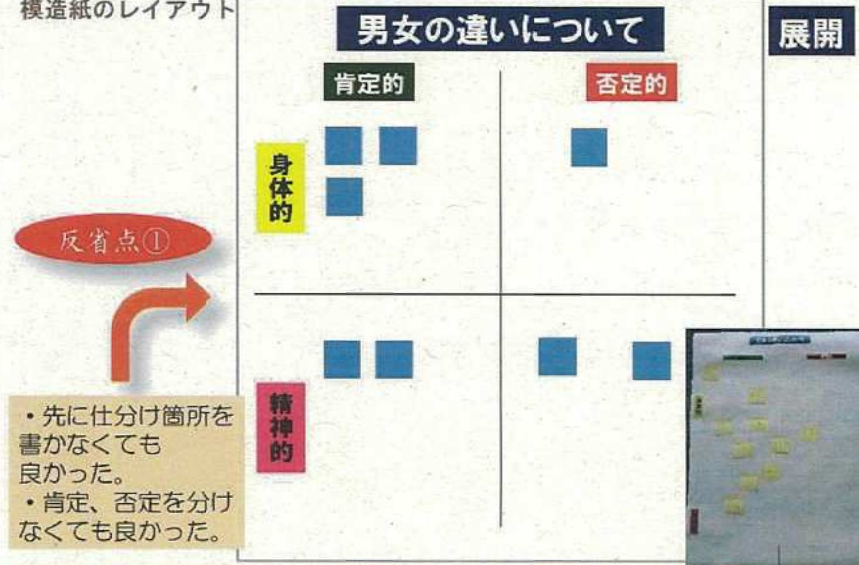
ブレインストーミング

テーマ 男女の違いについて

- 作業① ・男女の違うところを付せんに各自書き出す
- 作業② ・書き出した付せんを模造紙に張り付ける
→指定された内容ごとに区分けする
【区分け】身体的・精神的・肯定的・否定的
- 作業③ ・数班に発表してもらう

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

模造紙のレイアウト



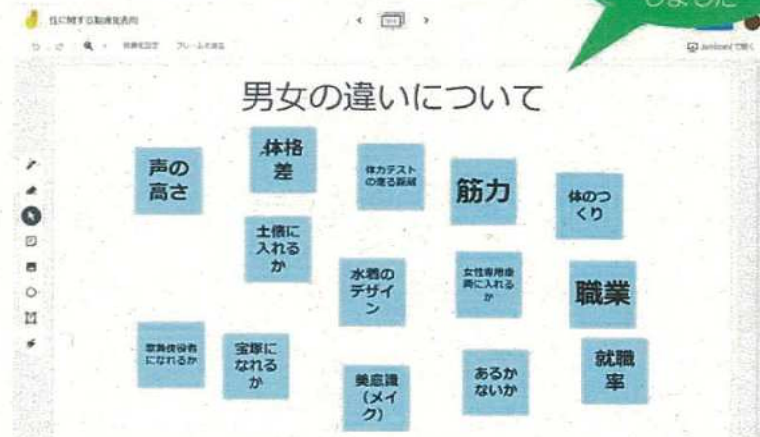
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

反省点②

ICTの活用

Jamboard

実際に生徒が
書いたものを
リメイク
しました



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

展開

生徒から出た意見から

男女の違いについて①

身体的

- ・体つき
- ・体力
- ・身長低い
- ・声高い
- ・女性のほうが寿命が長い
- ・髪の毛
- ・服装

精神的

- ・仕事
- ・メンタルの強さ
- ・趣味

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

展開

生徒から出た意見から

男女の違いについて②

身体的

- ・声の高さ
- ・体力テストの走る距離
- ・(生殖器) あるかないか
- ・水着のデザイン
- ・筋力
- ・体格差
- ・体のつくり

精神的

- ・美意識(メイク)
- ・趣味
- ・思考の違い
- ・職業
- ・歌舞伎役者になれるか

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

展開

授業実践

振り返りと次の展開

振り返り

- ・男女の違いについて思いついたことが多かったのは、
身体的なこと？精神的なこと？

身体的なものが多かった

より深く考える

- ★身体的なことについては視覚的にわかることが多い
- ★精神的なことについては視覚的にわかることが難しい

次に、目には見えにくい、精神的なことについて考えていく

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

展開

グループワーク②

ブレインストーミング

テーマ

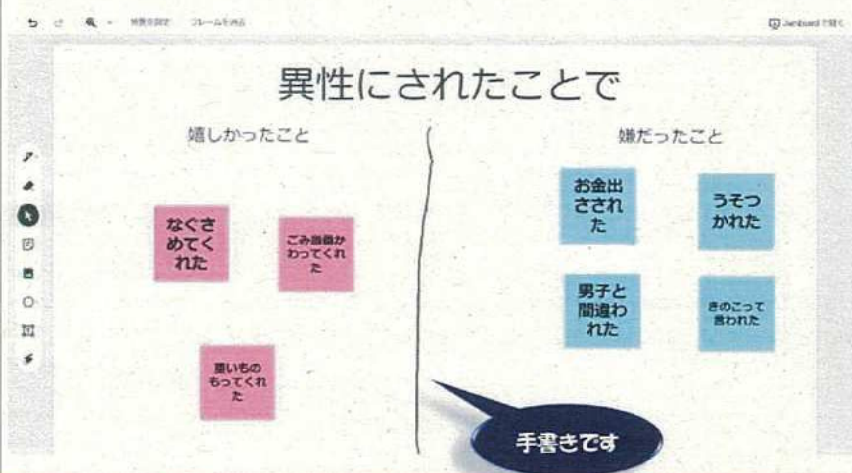
異性からされて嬉しかったこと嫌だったこと

- 作業① ・テーマの内容を付せんに各自書き出す
 作業② ・書き出した付せんを模造紙に張り付ける
 作業③ ・内容の精査（社会的に問題となる事項の有無）
 作業④ ・数班に発表してもらう

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

ICTを活用し、ジャムボードを使うようになります

※当日はできておりません。



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

展開

生徒から出された意見

異性からされたことで

嬉しかったこと

- ・チョコをもらった。
- ・おかしくれた
- ・細かいところを気遣ってくれた
- ・勉強おしえてくれた
- ・苦しんでいる俺をやさしくだきしめてくれたこと
- ・なぐさめてくれた
- ・ゴミ当番変わってくれた
- ・重いもの持ってくれた

嫌だったこと

- ・キモイっていわれた
- ・こわいっていわれた
- ・すぐ泣かれた
- ・便乗してイジられた
- ・チクられた
- ・蹴られた
- ・うそつかれた
- ・お金出された
- ・男子と間違われた

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

展開

異性間で起こるトラブル

セクシュアル・ハラスメント

の理解

説明①

異性との関わりで、「嫌だ」「不快だ」という事は時に大きな問題となってしまう。

説明②

セクシュアル・ハラスメントについて教科書での用語説明

ワークシートを配り記入

相手を不快にさせる性的嫌がらせのことで、性的な関心や欲求にもとづく発言、性差別的な発言、相手の体に触れる、性的な関係を強要するなど多岐にわたる。

それがセクシュアル・ハラスメントに該当するかどうかは、基本的にいわれた、もしくはされた本人がその言動を不快に感じるかどうかによって決まる。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

配布した
ワークシート

展開

性意識と性行動の調査
2年分組 全 員 氏 名

●セクシュアル・ハラスメント
被害者として

セクシュアル・ハラスメントとは、人を不快にさせる、
のことで、性的な嫌みや迷惑に思われる言動、身体的な接触、有害な体
に触れる、性的な侮辱を強要するなど、にわたる。それがセクシュアル・ハ
ラスメントにあたるかどうかは、客観的に判断され、むしろ被害者が
がその言動を不快に感じることによって決まる。

●被害者として被害を受けたらどうしたいだろうか？

●今後、被害と被害を受けたらどうしたいことは何だろうか？

●今日の感想（今回気づいたこと、新たに知ったこと、など）

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

まとめ

感想記入

ワークシート記入①

- これから異性との関わりで気をつけていくこと。

ワークシート記入②

- 今日の感想。
(初めて知ったこと、改めて気づいたことなど)

深い学びへ

この時間で何に気付いたか、何を学んだか

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

まとめ

他の班の取り組みを見る

- 作成した模造紙を机の上に置き、自由に見回る

共有

- 発表だけではわからない多くの意見
- どんなことを考えているのか幅広く知る

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入①

男子

- 容姿に関することは言わない
- ありがとうと言われてうれしいということなのでもっと言おうと思う。
自分が女だったら(と)考えて行動する
- 人が嫌だと思うことは、異性も同性もあまり差がないから、自分がされ
て嫌なことは絶対に異性にしない
- 細かい気遣いができるように相手のことを考える
自分の言動によって相手が不快な思いをしないか一度考える時間をつ
くってから発言するようにする
- 相手の気持ちを考えて行動する。
考え方がそれぞれ違うことを知っておく
- 男子と話すときよりも言葉使いに気をつける

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入①

女子

- ・優しく接する
お菓子をあげる
- ・相手を尊重する
自分勝手なことをしない
- ・口調に気をつける
気遣い
- ・自分も同じことをしているのに他人に注意することがないようにしたい
- ・「男だから」という言葉でくくらず差別しない
違いを理解する
同性、異性関係なく嫌なことはしない
- ・相手がどう思っているかよく考えて接する
- ・相手がされていやだと思うことは何か考えて、しないようにする

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入②

女子

- ・思ったよりも何も考えないで生活していたと思った。他の班の意見をみて確かにそう思うなと思ったことがあったのでもっと言葉にできるようにしたいと思った。
- ・最初のアンケートから異性の違外について分かったことがあった。色々な班を見て嬉しかったことや嫌なことも色々知れた。
- ・男女での考え方の個人差が意外と大きかったことに驚きました。自分には良いと思って相手も不快に思うこともあるので気をつけていきたいです。
- ・女子の方がされていやなことが多かったことにおどろいた。うれしかったことより嫌なことの方が覚えていた。
- ・女子の中でも異性にされて嫌だったことがかなり多くて驚いた。自分の悪いところを見直し、相手に不快な思いをさせないようにしたい。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入②

女子

- ・アンケートに結構違いがあって驚いた。
もっと仲良くしたいです。
- ・物をもらって喜んでいる人が思っていたよりも多くてびっくりした。
男女両方ともに仲良くしたいと思っている人が半分ぐらいいるのを初めて知った。
- ・異性でも同性でもされてうれしかったことや嫌なことは同じことが多いなと気づきました。相手に嫌な思いをさせないようにされて嫌なことはしないようにしたいです。
- ・相手が喜びそうなことも、嫌がりそうなこともよく考えて行動したいと思った。精神的な価値観の違いについてもよく考え直したいと思う。
- ・男女の違いということで話し合いをしたけど、意外と男女ではっきり分かれていることは少なく感じた。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入②

男子

- ・言葉や態度で起こるトラブルが多いので、気をつけたい。
- ・人は傷付けるものではない。
- ・人と関わるときは男女関係なく自分がされていやなことはしない。
- ・今日の授業で、男子と女子では話、行動に対する受けとり方が違うことが分かりました。
- ・男女の差は思ったよりも多いことがわかった。
やられてうれしいことは恥ずかしがらずにやろうと思った。
- ・自分はあまり嫌なことをされたことがなかったけど、他の子は結構被害をうけていたので自分は恵まれていると思った。
考え方、感じ方が少し違う異性とうまく付き合っていくために、言動に気をつけたい。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

3 まとめ

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業の進め方についての検証

取り扱った 内容

- ・高校2年生での「性に関する指導」としては、これまで県が行ってきた内容と照らし合わせると、少し稚拙な内容であった。
- ・世間で出ている異性とのトラブルについて、根本的なものは何なのかを改めて考えることができた。
- ・学校の実情を踏まえた内容を取り扱うことができた。
- ・これを踏まえた上で、次の学習内容につなげていくことができた。

事前 アンケート

- ・具体的な事項については授業内で検討するため、簡易に回答できるものにした。
- ・生徒のワークシートからもアンケート結果で初めて知る事項があったと記載が複数あり、効果的な提示ができた。
- ・Google Formを活用すれば、直前の時間に行うのではなく、当日の授業の導入で実施、回答し、即座に反映できるので、必要に応じて活用する。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業のねらいに対する検証

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて理解したことを言ったり書いたりできるようにする。



- ・ブレインストーミングで全員意見を書き出したことや、関連した話し合いができた。
- ・思春期における身体面、心理面、行動面などの変化も改めて理解することができた。

異性とよりよく接するためにはどのようなことに気をつければ良いだろう？



- ・授業者として、この考えについては、生徒それぞれの捉え方があって良いと思っている。答えは1つでは無い。
- ・ワークシートでの振り返りから、多くの生徒が異性への接し方について考えようとすることや、さらに行動を変容させていこうとする意見が多く出た。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業の進め方についての検証

作成物の共有

- ・授業時間が迫ってきており、実施するか迷ったところであったが、結果として実施して良かった。
- ・生徒の感想からも、「他のグループの意見を見ることで気付くことがあった」、という内容の記載もあり、それぞれの意見を共有することに意義があることを知った。
- ・改善する点としては、ICTを活用することで、用具の準備や手間、移動する時間を取らずに閲覧できるので、積極的に活用していく。

ワークシート の活用

- ・できるだけ、作成物に専念できるよう最小限の内容にした。
- ・配付するタイミングも、グループワークが終わってからにすることで、生徒の注意を他に注がないようにした。
- ・生徒の気付きや、学習の深まりを知るための良い手代となった。
- ・Formなどの活用で配付の手間や、回収の手間も減る。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業の進め方についての検証

主体的、
対話的な学習

- ・グループワークが多く、意見交換を通じて、作成物を作り上げていくため、主体的に対話的な学習を行うことができた。
- ・もっと主体性を持たせるためには、1グループの人数を減らし、発言回数を増やす工夫もできるが、学級の人間関係なども考慮し、慎重に行えるようにする。
- ・男女分けることのないグループ構成で進めることも考えられ、まとめ方にも違いが出てくることが考えられる。
- ・最初のグループワークでの区分けで生徒が戸惑ったので、もっと簡易なものを提示できるよう工夫する。

思考・判断・
表現力

- ・ワークシート等の様子から、今回取り扱った内容についての概念を生徒自身が整理し、個人生活と関連付けて、生徒自身の課題を発見することができた。
- ・ここで出た課題を基に、行動を変容させようとする意識を表現することができた。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

この授業にあたり、多くの助言をいただいた
先生方に感謝申し上げます。



ご清聴ありがとうございました

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

最後に

・性に関する指導の現状と、これまで小学校から高等学校まで系統的に行ってきた学習内容と比べると逆行するような学習内容であったが、多くの生徒が異性や同性の考え方について改めて気付くことが多かった。

・生殖機能など身体的にも、知識など精神的にも発達しているところであるが、お互いを尊重することを学ぶことができ、良い機会になったと思う。

・今回はあくまでも、〇〇してはいけないというネガティブな発想ではなく、ポジティブに〇〇したら良いのではないかと、という心がけを持ってもらいたいと思い授業を行ったが、感想でも前向きな意見が多く、嬉しかった。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業